

英語活動学習指導案

令和6年6月13日(木) 学習指導Ⅱ 第3学年2組(5年1組教室) 指導者 原 雄規
Smith Gavin John

【単元】英語で学校探検！ (話すこと[やり取り]イ)

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	・ 附属小にある自分にとって魅力ある物の英語の音声や、伝え合う際に用いる基本的な英語表現への慣れ親しみ	・ 友達やALTと互いのことを分かり合うために、附属小にある自分にとって魅力ある物について、相手の反応に応じて伝え方を工夫するなど、相手に配慮しながら、英語を用いて伝え合う力	・ 友達やALTと互いのことを分かり合うために、附属小にある自分にとって魅力ある物について、相手に配慮しながら、英語を用いて伝え合おうとする態度
子どもの実態	・ これまでに、英語を用いた挨拶や自分の名前、好きな物を伝え合う際に用いる英語表現に慣れ親しんでいる。 ・ カタカナで表記される物は、日本語と英語の音声と同じだと考えているため、附属小にある身近な物の日本語と英語の音声の違いに気付いていない。	・ 友達やALTのことを知るために、尋ねたい内容を考え、"Do you like ~?"等の英語表現を用いて、互いの好きな物を伝え合える。 ・ 好きな物を質問したり答えたりするやり取りでは、話すことと聞くことを即時的に行う必要があるため、相手の反応に応じて伝え方を工夫することに困難さを感じている。	・ 友達やALTに自分のことを知ってもらうために、内容を考えたり、伝え方を工夫したりしながら、相手に伝わるようにやり取りを行おうとしている。 ・ 自分の好きな物を伝えたいという思いが強く、相手の好きな物を分かろうとする思いをもてていない。
価値	・ 本単元では、子どもたちは学校探検をし、附属小にある身近な物の中から、自分にとって魅力ある物を見付け互いに伝え合う。子どもたちは、1年生の生活科の学習で学校探検に取り組み、学校生活を支える施設や人々について調べ、附属小の好きなところを見付けた。3年生になった子どもたちは、1年生の時よりも視野や行動範囲が広がり、1年生の時には気付かなかったおもしろそうな物や使ってみたい教材など、自分にとって魅力ある身近な物に目を向けることができる。本単元において学校探検で見付けた互いにとって魅力ある物を英語で伝え合うことは、今まで英語で表現できなかった身近な物が英語で表現できるようになる充実感を得たり、友達や附属小のことをさらに知ったりすることができる。そして、やり取りを通して、英語でコミュニケーションを行う楽しさを実感できる。 ・ 附属小にある自分にとって魅力ある物を伝え合うことは、身近な物の英語表現を繰り返し発音したり聞いたりするため、日本語と英語の音声の違いに気付いたり、やり取りで用いる基本的な英語表現に慣れ親しんだりできる。	・ 自分にとって魅力ある物の英語表現が、伝えられる相手にとって、慣れ親しんだ英語表現ではないことがある。そのため、相手の反応に応じた即時的なやり取りを行う必要が生まれ、繰り返し伝えたり、強調して伝えたりするなど、相手に配慮しながら伝え合う力を高められる。	・ 一人一人が魅力を感じる物が異なるため、自分にとって魅力ある物を伝えたいという思いや友達やALTの新たな一面を知れるという嬉しさから、相手のことを分かろうとする思いが高まり、魅力ある物を英語で伝え合う楽しさを実感でき、伝え合おうとする思いが高まる。
見方・考え方	互いのことをさらに分かり合うという目的に向けて、新しく同じクラスの仲間となった友達や4月から英語を担当しているALTと、英語表現の選択・組合せをしたり、相手の反応に応じたりしながら、附属小にある自分にとって魅力ある物を伝え合うこと。		
今後の学習	4年「This is my favorite place.」において、学校内の自分のお気に入りの場所を友達やALTと伝え合い、互いのことについてさらに知ることができるとともに、コミュニケーションを行う楽しさを実感する学習へ発展していく。		

指導と評価の計画

目標	友達やＡＬＴと互いのことを分かり合うために、相手の反応に応じて伝えたり、相手の伝えていることに対して反応をしたりしながら、附属小にある互いにとって魅力ある物やその理由について伝え合うやり取りができる。			
評価 規準	(①知・技) 身の回りの物を表す英語表現の音声と日本語の音声の違いについて気付いたり、附属小にある自分にとって魅力ある物を伝え合う際に用いる"What's this?" "It's ~." "I like ~."等の基本的な英語表現に慣れ親しんだりしている。 (②思・判・表) 友達やＡＬＴと互いのことを分かり合うために、身の回りの物を表す英語表現や、"What's this?" "It's ~." "I like ~."などの基本的な英語表現を用いて相手に分かるように工夫をしながら、附属小にある自分にとって魅力ある物について尋ねたり答えたりして伝え合っている。 (③主体的態度) 友達やＡＬＴと互いのことを分かり合うために、身の回りの物を表す英語表現や、"What's this?" "It's ~." "I like ~."などの基本的な英語表現を用いて相手に分かるように工夫をしながら、附属小にある自分にとって魅力ある物について尋ねたり答えたりして伝え合おうとしている。			
言語 材料	What's this? / It's ~. / I don't know. / That's right! / Nice! / OK! / One more please. / Thank you. / I like ~. / Oh, I see. This is a science room / music room / classroom / gym / playground / library. It's a(an) desk / chair / piano / drum / xylophone / blackboard / locker / gas stove / sawing machine / iron / basketball goal / stage / floor / monitor / school flag. I like music / P.E. / science / cooking / books.			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞※太字は「記録に残す評価」
つか む	2	○ＡＬＴとＪＴＥによる絵本の読み聞かせを見聞きし、ＡＬＴやＪＴＥとともに試しの学校探検に出かけ、単元の課題（Unit Goal）をつかむ。 Unit Goal 学校探検で見付けた自分にとって魅力ある物を友達やＡＬＴと伝え合い、お互いのことをもっと知ろう	○附属小にある身の回りの物や探検に行きたい教室を想起できるように、附属小の校内の写真を提示する。	◇自分にとって魅力ある物や探検に行った教室について、英語表現を用いて話したり、記述したりしている。 ＜発言・Try Sheet③＞
追 究 す る	I	○学校探検で教室と魅力ある物の写真撮影をし、"What's this?" "It's ~."等の英語表現を用いて、ＡＬＴやＪＴＥに魅力ある物の英語表現の音声について質問したり、確認したりするやり取りをする。	○学校の中にある身の回りの物の英語表現の音声について、ＡＬＴやＪＴＥに質問するための英語表現を想起できるように、絵本の中の質問する場面を提示する。	◇学校にある身の回りの物の英語表現を発音し、英語の音声と日本語の音声の違いに気を付けて、やり取りをしている。 ＜行動①＞
	I	○探検した教室で撮影した写真を見せながら、"This is a ~room."等の英語表現を用いて、友達やＡＬＴと伝え合うやり取りをする。	○探検に行った教室を英語表現を用いて伝えられるように、附属小内の教室の写真を提示し、ＡＬＴとＪＴＥが演示するモデルを見聞きする機会を設定する。	◇英語表現を用いて、探検に行った教室を伝えている。 ＜行動①＞
	I	○撮影した教室や魅力ある物の写真を見せながら、"This is a ~ room." "What's this?" "It's ~." "I like ~."等の英語表現を用いて、自分にとって魅力ある物について、友達やＡＬＴと伝え合うやり取りをする。 (本時)	○やり取りは自分の考えや気持ちを伝えるだけでなく、友達の考えを受け止めることも大切であると気付けるように、目指すコミュニケーションを具体化したやり取りの動画を提示する。	◇附属小にある自分にとって魅力のある物やその理由について、相手に分かるように伝え方などを工夫しながら伝えている。 ＜行動②＞
ま と め る	I	○学習したことを生かして、学校探検報告会において、自分にとって魅力ある物を友達やＡＬＴと伝え合う。	○附属小にある魅力的な物について伝え合う英語表現を想起できるように、ＡＬＴやＪＴＥに質問をしたり、友達と教え合ったりする機会を設定する。	◇友達やＡＬＴと互いにとって魅力ある物を伝え合うやり取りをし、友達やＡＬＴのことについて、新たに知ったことを記述している。 ＜行動・Try Sheet①②③＞

本時の学習（５／６時間目）

ねらい 附属小にある自分にとって魅力ある物について、友達やA L Tに尋ねたり紹介したりすることを通して、相手の反応に応じて、分かってもらえるように工夫をしながら伝え合うことができる。

評価項目 附属小にある自分にとって魅力のある物について、相手に分かるように伝え方などを工夫しながら伝えている。

<行動②>

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・附属小にある自分にとって魅力ある物を伝え合えるようになることがUnit Goalだったな。友達に自分にとって魅力ある物を紹介したいな。 ・私は音楽室のピアノとその理由について、友達やA L Tに分かるように伝えたいな。 (目的意識)	○自分にとって魅力ある物を友達と伝え合えるようになるというUnit Goalを想起できるように、単元を通して毎時間実施してきた絵本の読み聞かせを行い、絵本に書かれている内容について問いかける。 ○自分が紹介をする、自分にとって魅力ある物を想起できるように、タブレットで撮影した魅力ある物の写真を見るよう促す。
めあて：附属小にある自分にとって魅力ある物について、友達やA L Tに分かるように英語で伝えられるようになろう	
2 自分にとって魅力ある物について友達と伝え合う。 ・「ピアノ」を友達に紹介するためには、"This is a ~ room." "What's this?" "It's ~." "I like ~."の英語を使うと伝えられそうだな。 ・ピアノの紹介を英語でできるようになってきたぞ。もっといろんな友達と伝え合いたいな。 ・「音楽が好き」の英語の言い方が分からなかったけど、クラスみんなに質問をしたら、"I like music."と教えてくれたよ。 ・友達にピアノの紹介とその理由を伝えたら、難しそうなお顔をしていたぞ。自分の英語がもしかしたら伝わっていないのかもしれないな。"OK?"と聞いて確かめてみようかな。 ・友達から「もう一回言って」とお願いされたから、"It's a piano." "I like music."をゆっくり話したよ。そうしたら、友達から"OK!"と言われたよ。伝わったみたいだぞ。 ・"I see."や"OK!"と友達に言われると、ちゃんと伝わっていることが分かってうれしいな。もっと魅力を分かりやすく伝えたい気持ちになるね。自分も"I see."や"OK!"と言って、伝わっていることを相手に伝えたいな。 ・ピアノやその理由を伝えるだけでなく、相手の反応をよく見たり感じたりすると、自分の考えがより分かってもらえる気がするな。 ・音楽室のピアノや音楽が好きという理由を、相手に分かるように伝えられたぞ。 (目的を達成した意識) 3 本時の学習の振り返りをする。 ・ピアノについて伝えられるようになったぞ。もっといろんな人とやり取りをして、友達にとって魅力ある物について知りたいな。	○自分にとって魅力ある物を伝える際に用いる英語表現を想起できるように、絵本の中で使用されていた"This is a ~ room." "What's this?" "It's ~." "I like ~."等の英語表現をA L Tの後に続いて発音するよう促す。 ○自分にとって魅力ある物について英語表現を用いて伝えることに自信がもてるように、友達と伝え合っている姿を称賛し、学級全体に紹介をする。 ○うまく発音できない英語表現や発音を忘れてしまった英語表現など、やり取りを通して感じた困り感を解決できるように、机間支援の際に把握した困り感とその解決策を問いかける。 ○自分にとって魅力ある物を伝えることに加え、相手の反応を確かめたり感じ取ったりしながらやり取りをする必要感をもてるように、Good Communication Barometer内のモデル動画を視聴し、これまでの自分のやり取りと目指すコミュニケーションとの違いを問いかける。 ○相手の反応を基に分かりやすく伝えようという思いを高めることができるように、魅力ある物を繰り返し伝えたり、相手の反応を確かめたり、工夫して伝えている子どもの姿を称賛し価値付ける。 ○聞き手から"I see."や"OK!" "One more, please."等の反応があると、もっと魅力ある物を伝えたいことに気付けるように、やり取りの中で相手に反応してもらった子どもにその感想を問いかける。 ○自分にとって魅力ある物を英語で伝え合えるようになってきたことを実感できるように、相手の反応を基に伝え方を工夫している子どものモデルを紹介し、称賛する。 ○自分にとって魅力ある物について伝えられるようになったことや、伝え合えた楽しさを実感できるように、できるようになったことややり取りをして楽しかった気持ちをTry Sheetに記述するよう促す。